

# なかつ市議会だより

令和6年  
12月議会



## 何事にも全力!



## 中津東高等学校



学校行事



学校ホームページはこちら→



表紙作成:大分県立中津東高等学校

## 大分県立中津東高等学校と意見交換会を行いました!



広報広聴委員会は令和6年11月18日(月)、中津東高等学校生徒会役員と意見交換会を行いました。意見交換会では、公共交通の利便性向上や通学路の環境整備などについて、市に対する意見や要望をいただきました。それに対して委員より、現在の市の取組み状況や今後の計画等について説明を行い、活発な意見交換が行われました。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索



発行/大分県中津市議会

発行年月日/令和7(2025)年2月1日



# 12月議会 一般質問

- ◆令和6年12月議会において、議員から市政全般に対する質問が行われました。その中から主な質問を紹介いたします。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(ピンク色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



あら き ひろ こ  
**荒木 ひろ子**  
(日本共産党)



- 紙の保険証とマイナ保険証
- 放課後児童クラブの充実
- 学校給食無償化
- 小中学校入学祝金支給
- 核兵器をなくす取組み

**問** 12月2日から政府は国民健康保険証の新規発行を停止しましたが、マイナ保険証はトラブルで、使えないケースもあると聞いています。これまで通り、ずっと保険証・資格確認書で受診ができるように。

**答** これまでの保険証は令和7年7月31日までは使用出来ます。有効期限内に、マイナ保険証をお持ちでない方には、資格確認書を交付します。病院で提示すれば、これまで通り受診できます。

**問** 希望する子ども達が全員入所出来る放課後児童クラブの体制整備と煩雑な運営事務の支援、三保学童クラブは三保小学校の改築にあわせて、安全な放課後が過ごせる様に学校施設に場所の確保を。

**答** 待機児童対策は、策定中の計画の中で対策について取りまとめたと考えています。事務支援は、市独自様式の提示や、帳簿作成等の外部委託経費を補助対象とするなどの支援をしています。三保学童クラブは校舎改築にあたり、学校と協議を行って、校舎内への整備を考えているところです。



おお つか まさ とし  
**大塚 正俊**  
(市民の会)



- 新学校給食調理場の建設
- ・ 財政に与える影響
- 持続可能な財政運営に向けて
- 園児、児童の登校班の再編
- ・ 集団登校の再編に向けて

**問** 私の財政推計では、新学校給食調理場建設(7,100食規模、約42億円)を行った場合、令和15年度には財政調整基金が枯渇します。当初の旧下毛地域の統合(1,000食規模、約16億円)に見直すべきでは。

**答** 今回の整備にあたり、現在の調理場が抱える課題の解消に向けて検討してきました。さらに、建設の事業費、財源、起債の発行額とその償還額、今後の財政運営への影響など総合的に考えて、4つの調理場を1つへ集約する案を取り組んでいます。

**問** 園児や低学年児童だけで登校させるのは心配です。仕事を抱える保護者が増える中で、学校は地域に協力を得ながら集団登校を再編すべきでは。

**答** 中央教育審議会答申では、登下校時の対応や見守り活動は、基本的には学校以外が担うべき業務と整理されています。これまでの体制を継続するとともに、学校運営協議会も活用しながら、保護者や地域と一体となって、子どもたちが安全に登下校できるよう安全推進体制の充実に努めていきます。



つね が しん じ ろ う  
**恒賀 慎太郎**  
(前 進)



- 旧中津市内の渋滞対策
- ・ 産業道路、国道10号の利用を
- ・ 南北幹線道路の早期完成を
- 行政と自治会の連携
- ・ 建築確認申請時の指導強化を

**問** 大幡小南北の交差点が、毎朝夕通勤車により渋滞が発生しています。企業関係の方々には国道10号、産業道路へう回する働きかけは出来ないか。

**答** 通勤時間帯の渋滞緩和策として企業勤務の方、業務で使用する車両等のう回利用については、「中津港利用促進推進協議会」等関係団体を通じ協力依頼をしたいと考えています。

**問** 渋滞対策、経済面、防災面にも多大な効果が見込める南北幹線道路として宮永角木線、下池永西大新田線の進捗状況と今後の見通しは。

**答** 宮永角木線は事業費ベースで市事業分が約74%、県事業分が約22%です。下池永西大新田線は事業費ベースで約29%となっております。両線とも早期完成を目指し連携を図ってまいります。

**問** 自治会加入が任意となっているので、アパート建設時には建築主に自治会協力要請をすべきでは。

**答** 建築確認申請時に自治会加入依頼、ごみ出しルール記載の文書を配布し、協力要請をしています。



き さ ぬ き よ し こ  
**木佐貫 佳子**  
(市民の会)



- 安心して食べられる学校給食
- 生徒が笑顔で通える学校に
- 何歳になっても笑顔で過ごせる中津に(認知症支援)
- 安心して避難できる避難所に

**問** 中津南高校耶馬溪校の生徒の全国募集に対して中津市としての支援についての考えは。

**答** 全国からの生徒の受け入れ先については、耶馬溪校の近隣の地域の方々には下宿受け入れの協力をお願いしているところです。他の支援策としては、自転車の貸与や住居・食事等の生活面でのサポートが考えられますので、検討していきます。

**問** 女性のための避難所の備蓄品についての計画は。

**答** 生理用ナプキン等、女性向けの災害用備蓄品を健康福祉部と連携し備蓄を行っています。また、「プライバシーの確保やベッドの配備は重要」という声から、さらなる数量確保を計画しています。

**問** 「女性のための防災講座」についての考えは。

**答** 市内にお住まいの女性を対象としたワークショップを2回にわたって開催する予定にしています。また、「4・11中津市の防災を考える日」の関連事業として、女性講師による女性目線での防災活動についての講話も現在検討しているところです。



かわうち やちよ  
**川内 八千代**  
(日本共産党)



- 安心の学校給食を
- 学童保育の充実
- 選挙の投票率アップのために
- 紙の健康保険証の存続・高齢者と低所得者の暮らし応援を

**問** 現在4ヶ所の給食調理場を1ヶ所へ統合する案は保護者、教員、市民への説明がなされていない。市民と議会の合意と納得が必要ではないか。

**答** 各学校の学校長、給食主任代表、保護者が構成員に含まれる学校給食運営審議会で説明してきています。また、議会においても、議会答弁、常任委員会、全員協議会等で説明してきています。

**問** その新調理場は計画段階から民間業者主導となるが給食は公教育の一環である。市と教委は責任を持てるのか。業者主導の\*PFI方式は見直しを。

**答** PFI方式では、運営事業者が設計段階から関わることで、安全・安心な給食の提供が期待でき、食材調達や献立表作成は、引き続き市で責任を持って行います。

**問** 学童保育は学校の近くにとの希望に応えるため、運営側の増設意向もあるので、市としての支援を。

**答** 計画に基づき、各校区のニーズ量を見極めながら、周辺公共施設を活用した施設整備も視野に入れ、必要量の確保に努めてまいります。



ちぎら たかゆき  
**千木良 孝之**  
(市民の会)



- 中学の部活動地域移行について
- ・ 学校との連携での問題点の把握
- ・ 市としての今後の取組み
- ごみのポイ捨てについて
- 自転車の駐輪場整備について

**問** 地域移行に取り組んできた中での問題点は。

**答** 平日は教員が指導するので、指導方針等の面で密接な連携や受け皿団体、外部指導者との連絡・調整を行うコーディネーターの設置や活動の場所等の調整も必要となります。課題は大きく3つで、①保護者負担の問題、②受け皿団体の整備、③指導者確保の問題です。今後の課題検討は、持続可能な活動とするため、保護者負担と市の財政支援だけでなく、国・県の支援が不可欠と考えています。

**問** 今後どのように取り組み、地域移行を行うのか。

**答** 教育委員会では市の体育連盟、文化連盟代表の校長・教職員と検討会議をもっています。その中で、中津市における持続可能な在り方の案を固めたうえで、運動・文化活動関係者及び有識者を交えた検討委員会を開催し、具体的な実施方法について決定していく予定です。今後、国や県だけでなく、他市の動向も注視しながら、中津市における持続可能な地域移行を検討してまいります。



みかみ ひでのり  
**三上 英範**  
(日本共産党)



- 農林業を続けられる中津市に
- 7,100食の学校給食施設建設は関係者・市民合意を最優先に
- 農地等の災害復旧は負担ゼロに
- 補助金不正事件は早期解決を

**問** 稲作は、せめて生産費を償うことができるように。畜産は、とりわけ子牛価格の価格低迷・飼料高騰への対策を。林業は、伐期を迎えた8万㎡を超える市有林の計画的な伐採・植林と森林環境譲与税を活用して、担い手の育成に取り組むべきでは。

**答** 農業については、担い手の確保・育成や畜産での増頭支援を行い、稲作・畜産・園芸や果樹農家など、地域の農業形態に応じた各種事業を活用し、農業の振興を図ってまいります。林業では、中津市森林整備計画に基づいた森林整備を推進し、森林環境譲与税を活用した担い手の確保・育成や林業事業体強化対策を積極的に講じることで、林業の振興を図ってまいります。

**問** 農地等の災害復旧事業は、農水省も被災農家の負担分を市が全額負担しても良いとの考えで、旧中津市内は平成24年まで負担ゼロでした。そうすべきでは。

**答** 平成24年災害以降、段階的に条例や要綱を見直し、被災農家の負担軽減を図ってきたところです。



おくむら かずよし  
**奥村 一義**  
(前 進)



- デジタル田園都市国家構想交付金
- 小中学校におけるプール授業

**問** 交付金はどのようなものですか。

**答** 地方の社会課題解決・魅力向上の取組みを加速化・深化させるため創設されたものです。

**問** どのような事業に活用していますか。

**答** AIドリル実装、衛星画像活用漏水調査、農林水産業サプライチェーン最適化、不滅の福澤プロジェクト、日本遺産「やばけい遊覧」推進などです。

**問** 石破内閣は地方創生交付金を倍増していくそうですが、中津市の取組みを教えてください。

**答** 東京一極から地方に分散していくことが、日本の国全体の振興につながると考えます。このチャンスを逃さずに、地方創生の交付金を最大限に活用して、本市の地域振興に役立てたいと思います。

**問** 学校プールの授業の目的は何ですか。

**答** 水泳指導と水の事故未然防止の思考力を育むことです。天候の影響で実施計画日数を下回るクラスがあったことも踏まえ、今後実施時期を見直すことも学校と共に考えていきたいと思っています。

**語句の説明**

\* PFIとは、民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと。





お ずみ とし こ  
**小住 利子**  
(公明党)



- 災害時におけるペットとの避難について
- 誰もが生き生きと安心して暮らせるまちづくり

**問** ペット同伴避難訓練を実施してはどうか。

**答** 避難訓練を行うことにより、ペットの飼い主の防災意識も高まり、ご自身の災害への備えの状況の確認にもつながると思いますので、開催方法等も含めて考えていきたいと思います。

**問** 自治会活動のデジタル化の考えは。

**答** 市の情報発信につきましては、必要な情報を確実に受け取れるよう、市報とあわせ紙媒体による提供を行っており、自治会の協力を得て全戸配布や回覧によりお届けしています。一方で、スマートフォンによる連絡ツールの導入や回覧板のデジタル化など、自治会においても\*DXに取り組む必要があると考えております。今後は先進自治体の情報収集に努め、デモ体験等を通じて、自治委員の方々の意識確認や希望する自治会の把握に努めるとともに、デジタル化を希望する自治会があれば、しっかり支援してまいります。



さ が ら あ す か  
**相良 亜寿香**  
(ほんき)



- 里親啓発
- スポーツ推進委員
- 三光深水の乗合タクシー
- 不滅の福澤プロジェクト

**問** 今年度の里親説明会の開催実績と里親登録数は。

**答** 年4回で11組13名の参加があり、登録数は14組です。

**問** 今年度のスポーツ推進委員の人数と活動内容・年間報酬と\*インセンティブの検討は。

**答** 44人でスポーツ大会の企画運営など、住民と行政を結ぶ橋渡しの役割を担っており、年間報酬は17,300円です。出席手当等はありませんが、研究大会旅費は予算の範囲内で支給しています。

**問** 深水乗合タクシー運行実施から現在までの利用者数とこれまでの委託料(経費)は。

**答** 令和元年からの5年間で、のべ2,737人の乗車人数で、経費は10,019,960円となります。

**問** 市民ミュージカルの再公演を期待するが、いかがでしょうか。

**答** 鑑賞後の気持ちの高まりを福澤先生顕彰の更なる推進力としたいと考えます。再演も含め、今後何ができるか関係団体等と考えてまいります。



お お う ち な お き  
**大内 直樹**  
(清流会)



- 中津市の防災士はどうあるべきか
- 中津市避難行動要支援者個別避難計画について

**問** 要支援者の個別避難計画作成では、本人と家族のセルフプランが優先ということですが、家族や支援する方が発災時そばにいないとは限りません。自主防災組織、自治会や隣近所との関わりが欠かせませんが、個別避難計画の中に反映されていますか。

**答** 近所の方や地元の消防団等の声かけで避難する計画の方はいます。改めて災害時の避難行動は普段の付き合いの延長上にあると感じています。

**問** この計画では、要支援者参加型の防災訓練の計画・実施、広報等を行い、自主防災組織等は定期的に要支援者参加型の防災訓練を実施するよう努める。市は必要な助言・指導を行うもの、とあります。要支援者の避難訓練はどのように行われていますか。

**答** 地域における防災研修や訓練等に際し、要支援者名簿や個別避難計画に関する情報の提供が市条例により可能です(提供拒否している者を除く)。周知を図り、訓練等の中で要支援者の避難を検討、実施いただけるよう、後押ししていきます。



き の し た も と の ぶ  
**木ノ下 素信**  
(清流会)



- 市職員の人材育成
- 命を助ける救急体制
- 学びの保障に向けた不登校対策

**問** 救急車で搬送先が決まらないときに使える救急告知病院等に一斉に連絡する仕組みの導入の考えは。

**答** 一斉連絡の仕組みはありませんが、今の救急医療体制のもと、関係医療機関と連携をして傷病者に適正な対応ができる搬送先医療機関の決定に努めています。

**問** 不登校対策の一つとして「学びの多様化学校」開設の考えは。

**答** 現在学校や教育委員会で行っている支援体制を推進・充実させていきたいと考えています。

**問** 専門的な相談や指導が届いていない児童生徒・保護者に相談窓口や民間支援の情報提供は。

**答** 学校では、支援方針について保護者を行うサポート会議や、保護者とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの相談支援を行っており、そのうえで関係機関との連携に努めています。また、必要に応じた情報提供も行っているところです。

語句の説明

\*DXとは、デジタル技術の活用により人々の生活をより良いものへと変革させること。  
\*インセンティブとは、人々の意思決定や行動を変化させるような要因、報酬のこと。





みえの たまえ  
**三重野 玉江**  
(清流会)



- 放課後児童クラブについて
  - ・ 各クラブの運営や支援員の処遇について
- これからの公民館運営
  - ・ スマートロック等の導入は

**問** 支援員の数が足りないという声を聞きますが、各クラブの支援員の人数は適正ですか。また、人材確保の支援はありますか。

**答** 現段階で支援員不足により不適正な職員配置となっているクラブはありません。今年度より、常勤の放課後児童支援員を2人配置した場合、運営費基準額が増額される仕組みを導入しましたので、積極的に活用したいと思います。

**問** 全国的に課題となってきた公民館、コミュニティセンターの管理及び鍵の問題について、スマートロック等の導入検討や実証実験の考えについてお尋ねします。

**答** 公民館利用は高齢者が多く、現在の電話や窓口での予約や、館長不在時に鍵を借りることに慣れていているため、地域から改善要望の声は特に挙がっていません。現時点では具体的な導入検討は行っておりませんが、DX推進の観点から今後ともしっかり注視してまいります。



あいの まき  
**湊野 真己**  
(前 進)



- ふるさと納税
- 地域医療
- コロナワクチン
  - 公園等の砂場の管理
  - 災害時のドローン活用

**問** ふるさと納税の納税者の想いを実現するために、寄附金の使い道用途指定の項目を、細分化や中津市独自の項目の追加を検討出来ませんか。

**答** 現在の項目で寄附者の想いに応えられていると考えています。今後も寄附者の想いに寄り添いながら、柔軟に対応していきたいと考えています。

**問** 通院に不安を抱えている方々のためにも、医療施設巡回バスの運行を検討出来ませんか。

**答** 公共交通機関、コミュニティバスの活用、山国地域のデマンドバスや全国で導入されつつあるライドシェアなども注視していきたいと思います。

**問** 高齢者等を対象にした新型コロナウイルスワクチン接種が始まっています。新しいワクチンも追加されているため、更なる説明を行うべきでは。

**答** チラシの全戸配布又は回覧、ホームページでの周知に加えて、電話や来庁者への相談対応も行っています。今後の周知については、接種者数、感染状況等の動向をしっかりと確認して対応してまいります。



まつば たみお  
**松葉 民雄**  
(公明党)



- 行政と市民のデジタル化
  - ・ 自治会のDX化について
  - ・ 防災のDX化について
- 害虫駆除対策について
- 独居高齢者の対策について

**問** スズメバチの巣の駆除費用の助成についての市の考えは。

**答** 助成については、市内におけるスズメバチの巣の駆除の状況などをよく検証した上で、助成制度導入の必要性等について、県内や近隣市町村の取組みも参考にしながら、今後調査研究を行ってまいりたいと考えます。

**問** 携帯電話回線による緊急時対応システムの導入について、実施出来ませんか。

**答** 中津市では「緊急通報電話貸与事業」を行っていますが、市が採用している緊急通報システムは、固定電話回線がなければ利用できない状況にあります。現在の緊急通報システムの利用者拡大を図るとともに、先進自治体の状況や通信技術の動向を見据えながら、利用者のニーズの把握、必要経費や受益者負担等の試算など、固定電話を持たない世帯への対応に関する調査研究を行ってまいります。



つすま よしお  
**角 祥臣**  
(前 進)



- 防災監視カメラの設置状況
- 液状化ハザードマップの作成
- 戸別受信機から発火の事案
- 平均寿命と健康寿命の延伸
- 雨水貯留流出抑制対策の強化

**問** 川や道路の災害状況を判断する上で重要な防災監視カメラについて、今年度中に設置する箇所と完成時期は。

**答** 3月末までに本耶馬溪2箇所、耶馬溪1箇所に設置予定で、1日も早い完了を目指します。

**問** 市街地の液状化ハザードマップを作成し、リスクコミュニケーションを図り、避難路の共通認識を。

**答** 判定の精度や伝え方の工夫が必要であり、作成方法・作成時期等について考えてまいります。

**問** 告知放送戸別受信機及び防災ラジオの乾電池から発火する事案を早急に利用者に対して周知徹底を。

**答** 他市での発火事案を受け、なかつメールや屋外放送等により、注意喚起を行いました。今後、定期的な市報掲載等により更なる周知を図ります。

**問** 特定健康診査実施率と特定保健指導率の状況が低いようだが、市民の意識アップに繋がる事業計画を。

**答** 令和6年度は、がん検診と同時実施できる日数の増加や特定健診受診者（国保加入者）にインセンティブを付与し、受診率の向上を目指しています。



やま かげ とも かず  
**山影 智一**  
(豊の風)



- 住みたい、働きたい「まちづくり」
- ・ ふるさと納税の取組み
- 「おひとりさま」の課題
- ・ 地域福祉の充実

**問** ふるさと納税により財源を確保し、更に投資をして、住みたい、働きたい「まちづくり」の好循環を生み出していくことは重要です。地域の魅力向上に繋がる返礼品の消費拡大は、地域産業の振興でもあり、その返礼品を通じて中津市を全国にPRする効果は大きいものがあると感じます。今後のふるさと納税に対する取組みを伺います。

**答** ふるさと納税の効果としましては、まずは中津市の新たな財源を確保する手段となっていることです。次に、中津からあげ、梨やぶどうなどのフルーツ、ひがた美人といった市の産品が返礼品となることで、地域産業の振興に繋がっていること、また「不滅の福澤プロジェクト」など市が推進する事業を応援していただくことで、地域の活性化にも繋がっています。さらには自然災害などの際、災害対策に使うて欲しいという要望により、災害支援にも役立っています。今後もふるさと納税を通じて、多様な方々がまちづくりに関わっていく好循環の取組みをすすめていきます。



ほん だ てつ や  
**本田 哲也**  
(清流会)



- 「多文化共生のまちなかつ」へ
- ・ 中津市外国人総合相談センター
- ・ 多文化共生推進プランの策定
- \*ローカルファースト（以下「ロカファ」と略す）のまちづくり

**問** 外国人総合相談センターの運営（相談）状況は。

**答** オープン後の相談件数は290件（外国人145件・日本人145件）、相談内容は求職や雇用、日本語習得に関するものが多くなっています。

**問** 地域ネットワーク構築のため「なかつ多文化共生推進プラン」の策定を。

**答** 行政と企業や地域、外国人市民等、各主体と連携して多文化共生を進めていける体制づくりについて検討をしております。

**問** 大規模工場の集積、農林水産品、歴史や自然などブランド化の素材が全て揃う中津市であるが、所得は1,711市町村中1,191位と低い。地域のことは地域で担う「ロカファ」が所得を増やす仕組みづくりになるが方針は。

**答** 地域経済循環率を高める取組みとして、地産地消や公共工事等の地元発注など、多岐にわたり推進しています。ふるさと教育や郷土愛の醸成などの取組みも「ロカファ」に繋がると考えます。

### 語句の説明

\*ローカルファーストとは、地域の目線に立って、地域を第一に、そして優先的に考え、地域の資源、文化、歴史を大切に、持続可能な地域社会を形成していくという考え方のこと。

## 大分県中小企業家同友会中津支部との意見交換会を開催



令和6年11月6日(水)、産業建設消防委員会は、大分県中小企業家同友会中津支部の皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換会では、中小企業を取り巻く現状と課題、今求められる市の振興施策などについて、様々な意見交換が行われました。

## 中津市老人クラブ連合会との意見交換会を開催



令和6年12月16日(月)、教育厚生委員会は、中津市老人クラブ連合会の皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換会では、高齢者にとっての公共交通の課題や健康増進のための活動などについて、活発な意見交換が行われました。



## 12月議会で決まった内容

令和6年12月議会は、11月25日から12月20日までの26日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案4件、条例関係議案8件、その他の議案9件、合計21件を可決し、人事案件2件を同意及び異議ない旨答申し、報告1件を承認しました。また、意見書1件を可決しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。) また、閉会中の継続審査となっていた決算議案10件を認定しました。

### 補正予算

- ◆令和6年度中津市一般会計補正予算(第5号)  
\*本年8月の台風10号の災害復旧に係る所要の補正を行うもの。
- ◆令和6年度中津市一般会計補正予算(第6号)  
\*国の総合経済対策に対応し、住民税非課税世帯等に対する支援及び給与改定等による職員給与費に係る補正を行うもの。
- ◆令和6年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和6年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

### 人事

- ◆中津市公平委員会委員の選任について  
かみいえ し の ぶ  
上家 しのぶ 氏(61歳)(耶馬溪町大字金吉)
- ◆人権擁護委員候補者の推薦について  
いのうえ こういち  
井上 浩一 氏(64歳)(山国町草本)  
※( )内の年齢は議案提出時の年齢

### 報告

- ◆専決処分報告について(令和6年度中津市一般会計補正予算(第4号))
- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)\*3件
  - ・道路(市道)管理者としての和解及び損害賠償額の決定
  - ・草刈作業中における自動車への破損事故に伴う和解及び損害賠償\*2件
- ◆令和6年度中津市土地開発公社事業計画補正及び補正予算の報告について

### 条例

- ◆行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- ◆なかつ情報プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ◆中津市執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
- ◆中津市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について
- ◆中津市立保育所設置条例の一部改正について
- ◆中津市職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ◆中津市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

### その他

- ◆事務の委託の廃止に関する協議について
- ◆公の施設の指定管理者の指定について\*5件
  - ・なかつ情報プラザ
  - ・中津市風の丘葬斎場及び火葬場施設並びに霊柩自動車運送事業
  - ・中津市宮洞門キャンプ場
  - ・中津市複合文化施設コアやまくに他4施設
  - ・道の駅やまくに
- ◆財産の取得について\*2件
  - ・FM告知放送端末
  - ・(仮称)中津市新学校給食共同調理場整備運営事業の用地
- ◆工事請負契約の締結について(市営高瀬住宅(A棟)建築工事)

## 決算

- ◆令和5年度中津市一般会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市サイクリングターミナル事業特別会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ◆令和5年度中津市診療所事業会計決算の認定について
- ◆令和5年度中津市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ◆令和5年度中津市下水道事業会計決算の認定について

## 意見書

### ◆学校の働き方改革推進のための長時間労働是正を求める意見書

以上1件の意見書は原案通り可決し、関係機関へ提出しました。

## 自由討議

### ◆効果的な主権者教育の実施について

- ①今年10月の衆議院選挙において、大分県の中でも中津市の投票率はなぜ低かったのか
- ②中津市で取り組める主権者教育にはどのようなものがあるか
- ③その他

(補足説明者：瀧野真己議員)



以上1件について自由討議を行いました。

### 令和7年3月議会の開催日程(予定)

2月	25日(火)	本会議「開会・会期・議案上程」	
	3日(月)	本会議「一般質問」(4日間)	
4日(火)			
5日(水)			
6日(木)			
3月	11日(火)	本会議「議案質疑」(2日間)	
	12日(水)	常任委員会	教育厚生委員会
	13日(木)		総務企画環境委員会
	14日(金)		産業建設消防委員会
	17日(月)		予備日
	18日(火)		
	21日(金)	本会議「自由討議」	
25日(火)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」		

### ◆賛否の分かれた議案

- [議第63号] 令和5年度中津市一般会計決算の認定について
- [議第65号] 令和5年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について
- [議第67号] 令和5年度中津市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- [議第88号] 令和6年度中津市一般会計補正予算(第5号)
- [議第92号] 中津市執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正について
- [議第103号] 財産の取得(中津市新学校給食共同調理場整備に伴う土地)について
- [議第109号] 中津市職員の給与に関する条例等の一部改正について

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前進						清流会				日本共産党			ほんき		市民の会			公明党		豊の風		
		林秀明	角祥臣	恒賀慎太郎	古江信一	奥村一義	瀧野真己	木下素信	相良卓紀	本田哲也	三重野玉江	大内直樹	荒木ひろ子	川内英代	三上英範	中西伸之	藤野英司	相良亜寿香	大塚正俊	木佐貫佳子	千木良孝之	松葉民雄	小住利子	山影智一
議第63号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第65号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第67号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第88号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠
議第92号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第103号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠
議第109号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※上記以外の議案(請願、意見書・決議等の議員提出議案を除く)については、全会一致で原案可決となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。